

技術・家庭科（技術分野）学習指導案

授業校 千葉市立天戸中学校
場 所 閱 覧 室
指 導 者 近 藤 裕

1 題材名 地域・地元の生物育成（C(1)生物の生育環境と育成技術）

2 題材について

生徒にとって技術の授業の分野の中で栽培というものは馴染みがなく、小学校でも朝顔やゴーヤを栽培するのみであり専門的な知識を正確に理解している生徒は少ない。さらに農業体験が乏しく、農業に対してのイメージも固まっていない生徒が多い。そのような状態で、これから技術の中で触れる栽培こそが生涯の栽培に対するイメージを形成すると言っても過言ではないと考えられる。初めて触れるものには新鮮味を感じるとともに、3年間の栽培学習の意欲を決定する大切な入口が導入にある。この導入を工夫し、考えうる最高の入口を約束して題材を準備することがとても大切だと考える。

導入を考えると、身近なものから伝えることは生徒の頭にも入りやすく浸透しやすい。そこで、地域の特産物や特徴的な作物などを取り上げることとした。地域の特産物は薄い知識はあるものの、深く専門的に知っていることが少ないため興味を引き出すことのできる内容となる。また、地域に誇りを持ち地元の栽培を他の人に伝えることができる知識を持つことは最低限必要なことだと考える。

現在の技術・家庭科を考えると、他の教科と比べ時間数が少なく、各分野に時間を割くことが困難である。そこで3年間を見通した計画と各分野の複合が要求される。幸いなことに、電子機器の発達により教育現場での ICT の活用は日々進化を見せている。知識の定着を図るとき、導入をコンピュータを使った調べ学習ではじめることは有効的な手段と考える。インターネットなどでの検索は様々な情報を手に入れることができ、高度な知識を簡単に理解することが可能である。私達はそれをどのような過程でどのような手法をもちいて活用するかを考えていくべきである。実際の物を目の前にする前に知識として理解できれば、限られた時間の中で効率良く学習することができる。これらを含め多くの要素を含んだ題材で興味関心をふくらませることを目指したい。

これらのことから初めて触れる栽培という真っ白なキャンバスに画を描くタイミングで、調べ学習を利用し、実物を目の前にする前に必要な知識として調べ学習を進めその知識を定着させたい。地域の生物育成を通して一つのテーマを調べることで他の人に伝え、地元を誇れる生徒を育成することを目指したい。

3 題材の学習計画

(1) 題材の目標

地域の生物育成に関心を持ち、実習への意欲を高めることができる。

(2) 本題材と3年間の指導計画の関わり

履修 学年	学習内容	履修項目	学習 時間
1年 平成24年度	ガイダンス		
	1 アンケートと基礎知識の確認		1
	2 コンピュータの利用と操作		2
	家庭で役に立つものをつくろう		

	1 生活や産業の中で利用されている技術	A	1 アイ	4
	2 材料と加工法	A	2 アイウ	6
	3 材料と加工に関する技術を利用した 製作品の設計・製作	A	3 アイウ	10
	地域の栽培についてしらべよう			
	1 インターネットでの情報の取り出し方	D	1 アイ	2
	2 インターネットでの情報のまとめ方とモラル	C	1 アイ	4
	3 地域の栽培や郷土料理についてまとめ、発表する	D	1 ウエ	
		C	1 アイ	4
		D	2 ア	(本時 4/4)
	4 生産物・栽培法をしらべよう	C	1 アイ	2
2年 平成 25 年度	作物の栽培 (にんじんの栽培)			
	1 栽培ごよみ	C	2 ア	2
	2 環境要因・生育の規則性と技術	C	2 ア	5
	3 土づくり、肥料・たねまき	C	2 ア	8
	4 定植後の管理・収穫の方法と保存	C	2 ア	4
	エネルギー変換に関する技術			
	1 エネルギー変換機器の仕組みと保守点検	B	1 アイウ	4
	2 エネルギー変換に関する技術を利用した 製作品の設計・製作	B	2 アイウ	12
3年 平成 26 年度	栽培条件の制御			
	1 栽培条件の理解	C	1 アイ	4
	2 栽培条件の制御	C	2 ア	7
		D	3 アイ	
	3 データの集計と結果のまとめ	C	2 ア	6.5
		D	3 アイ	

(3) 学習のつながり

①前時の学習

ア 学習内容 地域の栽培の調べ学習・資料のまとめ

イ 目標 地域のことについて調べまとめることができる。

ウ 本時の評価規準

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活の技術について の知識・理解
評価規準	・意欲的に調べ、まとめることができる。		・テーマについて調べたものをまとめることができる	・自分の地域の生物育成・栽培法をすることができる。

②次時の学習

ア 学習内容 地域の作物・栽培法をまとめよう

イ 目標 地域の作物・栽培法をまとめる

ウ 本時の評価規準

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活の技術について の知識・理解
評価規準	・地域のことを知り、 栽培について関心を 高めることができる。	・地域のことを考える ことができる。	/	・自分の地域の生物育 成・栽培法を知ること ができる。

4 本時の学習計画

(1) 学習内容 地域の生物育成を発表する。

(2) 目標 地域の栽培について発表することで、実習で地域の作物を作る意欲を高めることができる。

(3) 本時の評価規準

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活の技術について の知識・理解
評価規準	・地域のことを知り、 栽培について関心を 高めることができる。	/	・地域の作物について 話し合い、発表するこ とができる。	・地域の作物・栽培法 を知る。

(4) 展開

学習の流れ	時配	生徒の活動	指導上の留意点・支援	評価
はじめ	5	・地域の生物育成カ ードを確認する。	・地域の生物育成カードとワークシ ートを配付する ・本時の課題を板書する。	
課題把握	地域の生物育成を発表する			
班で 発表する	15	・調べた地域の生物 育成について班で発 表する。 ・班の発表代表者を 決める。 ・発表を聞いてわか ったことを記入す る。	・発表の仕方を話す。 ・机間巡視し発表を促す ・発表を聞いてわかったこと書くよ うに指示する。	・地域の作物 について話す ことのでき る。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>クラス全体の 前での発表</p> </div>	20	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者は発表の準備をする。 ・発表者は発表する。 ・発表を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表する人を指名する。 ・発表しやすいように書画カメラとテレビを用意する。 ・発表者に注目させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の作物・栽培法について知ることができる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>地域の栽培育成の補足説明 と今後の実習について</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を見て、話しを聞く。 ・今後の実習で栽培したいものを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を見せながら、地域の栽培育成を補足説明する ・ワークシートを書くように指示する。 	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>おわり</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ・感想を書く。 ・ワークシートを集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにまとめ・感想を書くように指示する。 ・ワークシートを集めるように指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培に対して関心を高めることができる。